



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社小田原機器 上場取引所 東
 コード番号 7314 URL http://www.odawarakiki.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 明義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 平野 光利 TEL 0465-23-0121
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	4,951	188.2	310	—	320	—	263	—
2018年12月期第3四半期	1,718	△28.5	△797	—	△793	—	△882	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 291百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 △893百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	85.28	—
2018年12月期第3四半期	△286.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	7,070	3,854	54.5	1,246.30
2018年12月期	7,213	3,606	50.0	1,168.07

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,854百万円 2018年12月期 3,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,293	88.4	199	—	201	—	149	—	48.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	3,094,000株	2018年12月期	3,088,200株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	945株	2018年12月期	945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	3,090,611株	2018年12月期3Q	3,083,496株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の堅調な推移を背景に雇用・所得環境の改善が続く中で、政府の各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国経済の減速や米中貿易摩擦の激化、中東情勢の緊迫化が懸念されるなど世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行きが不透明な状況であります。

当社グループ製品の主要市場である路線バス業界においては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた設備更新需要を背景に、主に首都圏のバス事業者の機器更新需要が本格化しております。

このような状況のもとで当社グループは、「次世代型ICカード機器」及び「首都圏向け運賃箱」の研究開発を前期に完了したことから、これらの新製品を市場に投入し、拡販を進めました。また、首都圏を中心とした運賃収受システムの更新案件を取り込み、順次納入を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,951,601千円（前年同四半期比188.2%増）、営業利益は310,251千円（前年同四半期は797,304千円の営業損失）、経常利益は320,686千円（前年同四半期は793,223千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は263,580千円（前年同四半期は882,724千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて456,476千円増加し、5,877,573千円となりました。これは主に、たな卸資産が782,091千円、未収消費税等が147,739千円減少したものの、現金及び預金が345,370千円、売上債権が1,023,258千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて598,875千円減少し、1,193,167千円となりました。これは主に、投資有価証券が566,176千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて375,438千円減少し、1,281,960千円となりました。これは主に、未払消費税等が149,901千円、未払法人税等が56,544千円、製品保証引当金が62,628千円、賞与引当金が56,533千円増加したものの、仕入債務が488,580千円、受注損失引当金が172,721千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて15,696千円減少し、1,933,919千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて248,736千円増加し、3,854,860千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益263,580千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2019年12月期の業績見通しにつきましては、2019年2月13日に決算短信で公表した内容から変更ありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,299,006	1,644,377
受取手形及び売掛金	1,519,894	2,560,165
電子記録債権	49,401	32,389
有価証券	—	70,075
商品及び製品	31,902	16,880
仕掛品	1,550,184	967,175
原材料	758,791	574,732
その他	224,831	32,632
貸倒引当金	△12,916	△20,854
流動資産合計	5,421,097	5,877,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	201,283	187,947
機械装置及び運搬具（純額）	21,779	17,100
土地	218,236	218,236
その他（純額）	70,234	64,115
有形固定資産合計	511,535	487,400
無形固定資産		
のれん	110,460	89,390
その他	42,096	50,498
無形固定資産合計	152,557	139,889
投資その他の資産		
投資有価証券	951,568	385,392
繰延税金資産	112,977	127,899
その他	87,589	76,770
貸倒引当金	△24,186	△24,186
投資その他の資産合計	1,127,949	565,876
固定資産合計	1,792,042	1,193,167
資産合計	7,213,139	7,070,740

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,149	360,832
電子記録債務	—	155,736
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	21,480	21,480
未払法人税等	5,620	62,165
賞与引当金	38,389	94,922
製品保証引当金	95,492	158,121
受注損失引当金	194,029	21,308
その他	177,236	287,393
流動負債合計	1,657,398	1,281,960
固定負債		
長期借入金	1,605,250	1,589,140
役員退職慰労引当金	10,093	2,677
退職給付に係る負債	271,995	284,611
資産除去債務	13,058	13,114
その他	49,218	44,376
固定負債合計	1,949,616	1,933,919
負債合計	3,607,015	3,215,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	322,422	324,423
資本剰余金	302,422	304,423
利益剰余金	2,936,755	3,154,027
自己株式	△479	△479
株主資本合計	3,561,121	3,782,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,003	72,466
その他の包括利益累計額合計	45,003	72,466
純資産合計	3,606,124	3,854,860
負債純資産合計	7,213,139	7,070,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,718,326	4,951,601
売上原価	1,518,161	3,646,907
売上総利益	200,164	1,304,694
販売費及び一般管理費	997,469	994,442
営業利益又は営業損失(△)	△797,304	310,251
営業外収益		
受取利息	1,933	590
受取配当金	2,746	5,189
受取保険料	7,063	13,135
貸倒引当金戻入額	1,076	—
その他	2,286	3,037
営業外収益合計	15,105	21,951
営業外費用		
支払利息	1,340	10,766
支払手数料	9,683	749
営業外費用合計	11,023	11,516
経常利益又は経常損失(△)	△793,223	320,686
特別利益		
投資有価証券売却益	3,180	—
特別利益合計	3,180	—
特別損失		
固定資産除却損	150	17
投資有価証券売却損	2,094	630
特別損失合計	2,244	648
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△792,287	320,037
法人税、住民税及び事業税	2,256	83,323
法人税等調整額	88,179	△26,866
法人税等合計	90,436	56,457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△882,724	263,580
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△882,724	263,580

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△882,724	263,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,989	27,462
その他の包括利益合計	△10,989	27,462
四半期包括利益	△893,713	291,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△893,713	291,043
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	運賃收受機器 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,599,830	118,495	1,718,326	—	1,718,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	92,033	92,033	△92,033	—
計	1,599,830	210,528	1,810,359	△92,033	1,718,326
セグメント利益又は 損失(△)	△829,604	1,896	△827,708	30,403	△797,304

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額30,403千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	運賃收受機器 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,771,334	180,266	4,951,601	—	4,951,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	99,577	99,577	△99,577	—
計	4,771,334	279,844	5,051,179	△99,577	4,951,601
セグメント利益	279,712	33,079	312,792	△2,540	310,251

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△2,540千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。